

マッチング事業 受け付けを開始

十六銀、岐阜信金

十六銀行、岐阜信用金庫など東海地域の6金融機関は、地域の大学などが提供する技術シーズと、事業者とのマッチング事業にエントリーする取引先事業者の受け付けを開始した。

マッチング事業は、中部経済産業局主催。金融機関のネットワークを通じてマッチングすることで、先端技術の社会実装や地域企業の新事業創出などを促進し、地域の稼ぐ力の向上を

図る。テーマは「製造現場におけるカーボンニュートラル」で、16の大学・高専機構から20の技術シーズが寄せられている。

エントリー期間は第1期

が10月31日までで、第2期が12月20日まで。マッチングは11月から来年2月まで。技術シーズの詳細は、中部経済産業局のホームページで紹介している。